

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	お互いを思いやり、共に安心して暮らす中で、あなたらしさが感じられる、家庭的な雰囲気を作る。	地域にとけ込みながらの日々の生活を送る。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	意味を理解しながら、取り組んでいる。	理念を職員が理解した上で、管理者・職員の一日の情報交換を密に行う。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	年に1回地域、家族、職員間で交流会を設けている。 推進会議を設け、少人数ではあるが参加してもらっている。	2回しか行なっていないが、推進会議で、より多くの方に参加してもらいながら理解を深めていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩に出て、近所の方と挨拶をしふれ合う。野菜等もいただくこともある。	ゆったりとした対応が出来ればと思う。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ゴミ当番、地域の草取り、地域総会への参加。	より地域との交流を深めたいと、4月より運営者も自治会等に参加し、交流に努めている。

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>6 事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域総会にて、管理者が認知症について話をした。</p>		<p>地域の方より相談があった場合は、取組んでいきたい。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7 評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>出来た部分もある。</p>		<p>今回も評価を受け、見直し改善に取り組みたい。</p>
<p>8 運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>活かしていきたい。</p>		<p>今後、多くの家族の方に参加していただき、サービスの向上に努めたい。</p>
<p>9 市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>困ったことや迷いがあるときは相談したりしている。</p>		
<p>10 権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>			<p>学習回答を利用し行なっていきたい。他の研修の利用もしたい。</p>
<p>11 虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会はしていない。日々、拘束・言葉の拘束・職員への注意等をしている。</p>		<p>さらに理解を深めていきたい。</p>

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>事前面接や契約時に理解してもらったり、退所の時は、日々の利用者の様子を面会時等で報告しながら理解していただく。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎日の生活の中から、意見・要望などを汲み取りをおこなっている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時や、緊急のときは、電話等で家族にその都度状況を伝えている。</p>	<p>今後も行なっていく。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>平成20年2月より、意見箱を設置。ご家族からの意見を聞き、反映させたい。</p>	<p>職員の一人ひとりが、面会時などで家族の方との交流・話をする機会を持っていきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>運営者の職員会議の出席もあり、提案していることについて反映させていきたい。</p>	<p>職員の意見等が、運営者にも伝わり、更に反映されるよう努める。</p>

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	病院の受診、行事日など、職員の勤務。		利用者の状況に合わせた早番、遅番の勤務時間の調整をしている。
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	1階・2階、利用者の配置を決めている。		移動するときは少し前から顔合わせ等をし、コミュニケーションを取るようになっている。
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症研修は順次受講し、全員の受講が完了している。		社会人の心構え、接遇、職務遂行。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設への研修等による当施設のサービスの向上は必要だと思うが、現状職員数では職員に負担がかかり無理がある。		他施設の職員や同じグループホームで働く人たちと意見交換などしていきたい。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の希望も取り入れた勤務体制を組み、様子を見て職員の慰安会を実行している。		休憩室の確保をしたい。

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員同士協力し、お互いが向上できるような職場作りの為、個々の意見・希望を聞き改善できるよう努めている。		希望する研修等、受けることが出来るようにしたい。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている	日々の生活の中から、利用者の言葉、家族からの要望をもとに、その方に合った、生活を作るようにしている。		利用者一人ひとりとコミュニケーションをとり、安心して生活していけるようにしている。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている	面会時等で家族の方とふれあい、話を聞く場を作り、不安解消に努めている。		家族がこの施設を利用するまでに困ったことや、これからの不安や心配などを聞いて相談にのりたい。
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	努めている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	場合によっておこなっている。		

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日々の生活から、その方の出来る能力の中で、手伝い・レク等を通じて楽しい生活作りをしている。</p> <p>利用者の昔の話や、生活から学ぶことが多い。</p>	<p>今後も本人の気持ちや思いに気づき、感謝の気持ちと共に生活していきたい。</p>
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会に見えた時など、家族の方とも話を進んで行い、よりよい生活作りに心がけている。</p>	<p>面会の時を利用して、ご家族にも協力していただき利用者を支えていきたい。</p>
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>家族関係などを理解し、家族や利用者に接している。</p>	<p>利用者の良いところに気づき、そのことを家族にも話をする事で、良い関係が築けるようにしている。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>友達・知人等の面会時はもちろん、帰られた後でも名前を出し、関係作りに努めている。</p>	<p>友人・家族・生まれた場所などのなじみの人や、場所にふれる事が出来るような支援をしていきたい。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>仲の良い利用者同士で楽しめるよう、関係向上に努めている。</p>	<p>今後も行なっていく。</p>

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>利用者様が退所、その後亡くなった方、その家族などから連絡あった場合等に行っている。</p>		<p>今後も行なっていく。</p>
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>その人の施設での生活や話の中でできるだけ把握し、職員間で話し合い利用者本位に努めている。</p>		<p>今、本人が何をしたいのか見極めていきたい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活暦を記した書類を参考にしたり、新たに作成したり、その方の環境把握に努めている。</p>		<p>日々の生活から、ご本人の出来ること、出来ないことの気づき面を、これからも努力していきたい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>一日一日の生活の流れを記録し、職員全員が把握し、努めている。</p>		<p>一日の過ごし方をプランにもあげ、一人ひとりが何が出来るかを見極めていく。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎日のミーティング、担当者会議、計画作成者と話し合い、家族の方の要望を反映した上で、計画・作成している。</p>		<p>本人、家族にも会議に参加し、意見を出し合えるようにしたい。</p>

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人の状態が変わったとき、計画の変更、担当者会議を開いている。		サービス担当者会議に家族も参加していただけるようにしていきたい。
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者一人ひとり、記録からも日々の様子やケアの実践・結果・気づき等から情報を集め、計画を作成している。		記録の書き方は、もっと工夫の必要がある。問題ばかり書くのではなく、良い面も記入したい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	何度か来て頂いたことはあるが、今はボランティア等ほとんど入っていない。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	その時に応じた支援をしている。		

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	している。		今後必要に応じた支援をする。
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望する受診、協力病院の往診、急な変化も対応している。		今後支援していく。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	支援している。		今後も必要に応じ支援していく。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員は現在いない。		今後は訪問看護も必要と考えている。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院関係者と情報交換し、退院は早期にも努めている。		家族とも相談しながら出来るだけ早い退院に努めている。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	虹の郷でターミナルを迎えた方はいない。早い段階から、家族・協力病院と話し合っている。		

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	研修に参加した職員はいるが経験した職員は少ない。取り組む姿勢は、職員は持っている。		いずれはと考えている。 現在はかかりつけ医、家族と相談している。 訪問看護との連携を深め、検討する必要がある。
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	努めている。 病院への入院の方が多い。		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	取り組んでいる。 さらに職員一人ひとりの意識向上も必要。		取り扱いはしていない。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の意向は聞けていると思う。		さらに何が出来るか、本人・家族・職員間で話し合っていく。

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切にするように努めている。</p>		<p>買い物・外出・受診・散歩を支援している。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>利用者、本人が希望する場合は、その希望に沿うようにしている。</p>		<p>月1回来てもらっている美容師で対応が多い。 数人の方は家族が行なったり、行きつけの美容院にも行っている。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>おこなっている。</p>		<p>献立作成時、希望を聞いている。 好き嫌いも聞き入れている。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>喫煙者は現在いない。(入所時相談することもある) 一緒に買い物へ行き、おやつ、飲み物を購入している。</p>		<p>今後も行なっていく。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>失敗は出来るだけ少なくするように声掛け、誘導、または訴えに応じ対応している。</p>		<p>リハビリパンツ・オムツ使用の方も、時間誘導し、失敗を少なくしている。</p>

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	以前は、好きな時間で入浴していただいていた。 現在は曜日を決めている。		利用者様の様子を見ながら、いずれは好きな時間も考えていく。 曜日を決めたやり方は最近だが、入浴できる回数が増えたと思える。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その人にあった休息・安眠を取れるようにしている。		自分の部屋だと安眠できず、職員の側で眠ってもらっている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの楽しみを見つけ、その人らしさが活かせる様な支援を行っている。		施設の中だけでなく、生活歴も参考にし、楽しいことや外出などで支援する。
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で管理できる方は少ないが、職員も確認しながら支援している。		今後も行なう。
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日などは、散歩に出かけたり、その日の体調に応じて外出なども行っている。		出来るだけ、少しの時間でも外へ出る機会は作っている。

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ドライブ、時には少し遠出することもある。		行事等のときは、家族への声掛けも行なっている。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	普段電話、手紙を書いたりする機会が少ない方も、年賀状を出したりしている。		代筆をしたり、今後も行なっていく。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	本人のお部屋で過ごし、ゆっくりとお茶を飲んだりしている。		職員もお茶を出したり話に加わっている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		今後取り組んでいく。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	いつでも外へ出られる工夫をしている。出入り口に鍵はつけてあるが、日中は開放している。		夜間は出入り口にかける事もある。安全確保のために、日中はかけていない。

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>昼夜通し、安全に配慮している。</p>		<p>離設の可能性のある方は、所在確認を行い安全確保している。</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>取組んでいる。</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>転倒の危険、誤嚥のある方に、その利用者 に合った対応している。</p>		<p>事故報告書を活用し、職員が話し合って事故防止に取り組んでいる。</p>
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>研修にも行き、学習委員でも勉強会を行っている。さらに訓練の必要がある。</p>		<p>訓練は行なっていきたい。職員一人ひとりも自己研鑽が必要。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練を実施した。防災委員を中心に更に意識を高めたい。</p>		<p>職員がさらに防災意識を高める必要があり、今後地域との連携も。</p>
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>危険を防ぐため、何かあった場合の可能性を家族と話し合い対策を取っている。</p>		<p>全家族と話をしている。さらに危険度の高い利用者について、面会の都度連絡をしている。</p>

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>体調の変化や、異変に気づいた際に、ほかの職員にも伝え申し送り等で行い、場合によって管理者への報告をしている。</p>	<p>協力病院への報告・受診・家族への報告は必ず行なっている。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>利用者の処方箋はファイルにしてあり、全職員が理解の向上に努めている。</p>	<p>薬変更、臨時薬がある場合も、職員全員に伝達。 副作用について職員はさらに理解していく必要あり。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>取り組んでいる。</p>	<p>今後も取り組んでいく。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>見守り・越えかけ・清潔保持に努めている。</p>	<p>毎食後必ず行なっている。 一人ひとりに合った歯ブラシの検討も必要。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量の少ないときは、本人が好きなものを補えるようにしている。</p>	<p>行なっていく。</p>

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	ノロウイルスについては、職員研修も行った。肝炎等は資料作成し、全職員へ周知してもらっている。		繰り返し勉強会を行なっていく。
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具は毎日消毒し、多発時期に再度会議等で注意を呼びかけている。		努めている。 食材はその日の分を毎日購入している。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	心がけている。		
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地の良い居室作りに努めている。なじみのもの、手作りの物を置くことにより、自分の部屋だと理解し、心地よく過ごしてもらえるように工夫している。		中庭を活用するため、スロープ等を設けたい。
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同空間は少ないと思う。リビング・畳コーナー、時には1Fデッキ等を利用し、ゆっくりと生活が送れている。		1Fのデッキ・中庭を活用できないか考えていきたい。

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れたものでも、家族の方に理解してもらい、全員ではないが少しずつ協力していただいているが、難しい面もある。</p>		<p>部屋にはほとんど行かず、リビング等で一日を過ごす方もあり。 居心地良くする工夫は一人ひとり違うので良く話し合っていきたい。</p>
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>換気を必ず行っている。</p>		<p>行なっていく。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物に手すりをつけてある。</p>		<p>浴槽をまたぐ事が出来なくなったりした方も数人おり、工夫の必要がある。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>声をかけるタイミング、混乱を防ぐ努力をしている。</p>		<p>トイレの場所、一人ひとりの部屋の入り口を工夫している。</p>
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>中庭・デッキは自由に入出りできる。 2Fの方もいつでも利用できるようにしたい。</p>		<p>2Fは小さいベランダだが職員が工夫している。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所に つけること)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

グループホーム虹の郷(2Fユニット)

項目		取り組みの成果 (該当する箇所に をつけること)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている
		少しずつ増えている
		あまり増えていない
		全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が
		職員の2/3くらいが
		職員の1/3くらいが
		ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が
		家族等の2/3くらいが
		家族等の1/3くらいが
		ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・毎月の行事を決めてある。
- ・外出日を設け、外出(ドライブなど)を行う。
- ・毎年一度、家族や地域の方々との交流会を行っている。
- ・運営推進会議を行い、少しずつ理解を深めようとしている。
- ・受診時の援助、付添い。